



読字 原田 鏡

No. 792

2016/ 3/15

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0055 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会
岡山支部
〒713-8256
岡山県岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3016
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4 (宮地方)
TEL:FAK086(445)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国百科検定相談会の報告

—中国を身近に感じるだけでも意義がある—

はじめに

3月2日、日中友好協会広島県連本部事務所、標記の

会が開かれました。参加者は、米子・岡山・山口から各1人、広島県連から3人、本部の矢崎事務局長の計7人です。

会のはじめに矢崎さんは、第3回検定を成功させるために、第2回検定を実施した組織から率直な意見を聞くために集まってもらいました。」と相談会の目的について話しました。

岡山、山口からは、もし広島だけということになれば、交通費もかかり受験費用が多額になるので困る。ぜひ単県で実施したい。」との意見が出されました。

つながりの芽をひろげたい

検定会場は第1回の3か所から第2回は、全国32か所と広がりました。経費が増えたけれど参加者は予想したほど増えず、赤字となりました。本部としては、各ブロック1〜2か所にし

りこみたいと提案されました。岡山、山口からは、もし広島だけということになれば、交通費もかかり受験費用が多額になるので困る。ぜひ単県で実施したい。」との意見が出されました。

私はそのうえで、第2回検定で就実大学、岡山商科大学など新たなつながりができ、第3回では他大学にも広げていきたいと思っている。「また、そのために学生割引の制度を検討してほしい」と要望した。さらに1級については、問題のレベルを上げて、就職にも有利になるよう資格検定として、社会的な評価を得るような内容にし、合格率も50%位にしては」と提案しました。

百科検定への疑問

広島からは 検定の意義について根本的に考えてみる必要があるのではないかと日中友好のためなら他にもいろいろの方法がある。赤字まで出し

て今後、継続することに疑問がある。」などの意見が出されました。実施するか否かも含めて、今後理事会で充分に検討することになりました。

米子も、第2回検定で3人だけだったので、第3回については、松江支部とも連絡を取りながら理事会で検討したいとのことでした。

“谷”が深くても踏ん張って継続すべき!

矢崎さんは、各県の発言に対して、次のように回答された。広島から出た意見は、東京などからも出された。今後は、検定へのかかわりを強め、責任を明確にして、第3回はぜひ成功させたい」と述べ、千葉県の次のような意見を紹介しました。

最低でも10年位は如何に“谷”が深くても、踏ん張って継続すべきと考える。ただし、会場の数だけを追い求めるのは如何なものか。もともと、大都市と地方では、ひとつ交通の便等考えても別の考え方・処し方もあるのではないかと。全国に、一律で一気に試験会場を増やすというのは問題。重要

なのは、本試験を契機に中国ファンを増やし、日中友好に結びつけることである。さらに、若年層対策の観点から、高校生や大学生向けには受験料の割引や半額などといった思い切った対策処置の必要性についての検討も今後必要と思われる。」

中日友好協会に成績優秀者の中国招待を打診、王秀雲副会長らは中国滞在費を負担する「日中友好賞」の授与を提案、前向きに検討する(「日中新聞」2016年3月7日号より)との記事が載っていました。この検定は、中国を身近に感じてもらいだけでも意義があると思えます。

おわりに

中国百科検定に対しては

日中友好協会岡山支部
小林 軍治

「科学者九条の会」

創立10周年記念講演会

テーマ：憲法9条擁護・反戦・平和

講演：「私が育った戦後沖縄と日本国憲法」

一僕は日本人かな?」屋富祖 建樹氏

・「わが青春の戦時体験とSEALDs」

松岡 健一氏

日時：2016年3月15日(火)

16時00分~18時30分

(続いて懇談会)

参加無料です。懇親会は3,000円です。

会場：岡山大学文法経 10番講義室
(図書館の西の建物)

ひな祭り

3月4日、芳田日本語学習講座の受講生6人と2人の講師(貝吹・三宅)で、野崎邸の雛祭りを校外学習として見学にいきました。2人の受講生の感想文を紹介します。

黒田知恵さん

3月4日、江戸時代の塩田王、野崎家の邸宅を見させていただきました。入館料500円を払いました。邸内は基本的に庭から建物を見ます。まず江戸時代からの伝統が見られます。とくに茶室や厨に見とれました。ひな祭りだから代々伝わるおひなさまが飾られていました。

今は屋敷が広すぎて、とても維持が大変だなと思いましたが。

益田聖子さん

今年も雛祭りを迎えました。3月4日、私たちは先生と一緒に児島の野崎旧居の形展覧館を見学しました。同館には野崎家に代々伝

わる、国家指定重要文化財があります。毎年この時には多くの観光客をひきつけます。展示ホールに入ると見える数百件のおひな様は、精緻な設計である。作られた年代も同じではない。衣服の彩りも異なる人形。これら昔から伝わる工芸品は形が美しい。座り方が整っている、じつと前方に視線を向けている。ひらひらと飛んでいる。楽器をかき

らすのもある。それぞれの作品はどれも作者の知恵が凝縮していると思います。多くの人は着物を着る。人形の前で記念写真を撮って残しました。美しい人形を見て楽しみ、日本の伝統的銭太鼓の演奏は特別な風情がありました。天気が少し寒かったです。がとても楽しかったです。



岡山弁護士会主催

安保法はイケン!

全国一斉 安保法廃止を求めるパレード

昨年9月19日に成立したいわゆる「安保法」が、ついに3月29日に施行されます。しかし安保法は憲法9条に反する違憲の法律ですから、無効です。日本各地の弁護士会で、2月から3月にかけて、安保法廃止を求める行動を起こしています。

3月19日(土)には、下記のとおり、石山公園でリレートークを行ったのち、パレードを行います。安保法に反対する多くの市民の方とともに、「安保法はイケン!」と再び声を挙げたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

2016(平成28)年3月19日(土)

午後3時~

①リレートーク

石山公園(岡山市北区石関町7)

午後3時半頃~ ②安保法廃止を求めるパレード

(予定)

石山公園→桃太郎大通り→岡山駅前

5月には、岡山シンフォニーホールを会場に次の集会を行います。集会後には2000人規模のパレードを行いたいと考えておりますので今からご予約ください。

2016年5月7日(土)午後1時半~

①「危機に立つ立憲主義—安保法廃止を目指して—」

講師:小林節氏(慶応義塾大学名誉教授)

ゲスト:制服向上委員会&中川五郎

午後5時頃~

② 安保法廃止を求めるパレード(予定)

中国帰国者問題写真と資料展

開催日:4月19日(火)~21日(木)

時間:4月19日(火)10:00~17:00

20日(水) 9:00~17:00

21日(木) 9:00~16:00

場所:岡山市役所1階ロビー

【展示内容】

中国帰国者問題の歴史と現状

①「中国残留日本人孤児」の歩み

(龍爪開拓団の高見英夫さんの人生)

② 中国帰国者の芳田日本語学習講座・5年

③「中国帰国者との交流会」

④ 日中文化活動の取り組み

今年も福祉援護課の協力のもと、岡山市役所ロビーで「中国帰国者問題」写真と資料展を開催します。2008年4月に第1回目を開催し、今年で9回目です。凍てつく大地に取り残され、苦難の人生を歩んできた残留日本人孤児及び残留婦人とその家族。祖国日本へ帰国が始まって約35年、今の彼らはどのように暮らしているのか。

今回は「中国残留日本人孤児及び残留婦人」の歴史と「中国帰国者の芳田日本語学習講座」5年の歩みと現状などの写真と資料を中心に展示します。

また、中国残留邦人支援法が改正されて8年が経過した「今」の中国帰国者の実情を伝えることができればと思っ企画しました。多くのみなさまのご観覧をお願いいたします。

次回の新聞発送作業は3月22日(火)午後1時半から民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

石川
小林
竹内製
坪井

